今月のハイライト

特集

リハビリテーションにおける栄養管理

栄養障害は摂食嚥下障害とも関連し，高齢者のみならずリハビリテーション対象者の多くにみられ，十分な運動を行えない，ますます体力が低下するなどリハビリテーション遂行において大きな問題になっています．本特集では，リハビリテーションにおける栄養管理を主題として，関連する栄養障害の病態や対応について，また，リハビリテーションを実施するうえでの課題やポイントについても解説していただきました．

サルコペニアの予防　山田　実氏……661

サルコペニアとは運動機能（筋力）低下と骨格筋量減少の両者を有する状態であり，歩行速度・握力・骨格筋量の測定で判定される．サルコペニアのメカニズムから，その対策法として十分な蛋白質を摂取したうえでの運動が勧められる．この“運動＋栄養介入”は運動単独あるいは栄養単独介入よりも筋力増強効果・骨格筋増加に優れている．

急性期リハビリテーションにおける栄養管理　高畠英昭氏ら……667

急性期リハビリテーションを効果的に行うための栄養管理の基礎的事項が述べられている．栄養のスクリーニングにおいては評価法の選択以上に，対象とする患者の経過に沿って低栄養であるのか，今後，改善あるいは悪化する可能性があるかを早期より判断しモニターすることが大切である．

ニュース　道路バリアフリー化―五輪向け重点区間を指定（国土交通省）……666
就労定着の強化へ―改正発達障害者支援法が成立……666
認知症事故把握へ WG―関係省庁が連絡会議……672
「ノーマライゼーション　障害者の福祉」６月号・特集目次……692
障害者の就職９万人―６年連続で過去最高（厚生労働省）……701
精神障害者の入校促す―職能開発校で検討（厚生労働省）……701
有楽町で農福マルシェ―官庁街を出て障害者ら販売……701
差別解消へ　障害者白書……710

©IGAKU-SHOIN Ltd, 2016

2026/09/13 22:02:39

回復期リハビリテーションにおける栄養管理 小野武志氏……673
回復期リハビリテーション病棟の亜急性化により低栄養患者が増えており，栄養管理を考慮したリハビリテーションが重要となってきた．栄養管理の進め方として，①栄養スクリーニング，②栄養アセスメント，③栄養計画とリハビリテーション処方，④栄養とリハビリテーションの経時的評価，⑤栄養計画とリハビリテーション処方の見直し，の手順で行うとよい．

施設入居者に対する栄養介入の身体機能改善効果 百崎　良氏ら……681
維持期リハビリテーションに位置づけられる施設入居者を対象とした栄養ケアの身体機能維持・改善効果について文献レビューを実施し，7篇のランダム化比較試験が抽出された．効果を示すもののバイアスのリスクが高く，小規模研究が多いなどの問題点も明らかとなった．適切な介入のあり方や適応の選択を検討する質の高い研究が必要である．

栄養管理・指導のポイント 鈴木達郎氏ら……685
栄養障害を来しているリハビリテーション対象患者の栄養管理として“リハビリテーション栄養”が注目され，サルコペニアやフレイルの概念とともに臨床現場に浸透しつつある．がん，COPD，心不全，摂食嚥下障害患者に対する栄養評価と栄養指導のポイントがそれぞれ述べられている．

お知らせ 東京臨床理学療法研究会　第17回研究会……729
第19回リハビリテーション研修会
―コメディカルに必要な急性期リハビリテーションの知識と技術……739

2026/09/13 22:02:39